

歯科医学総合講義 5 : 543-5-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
5年次	後学期	*清水 武彦 (小児歯科学)

学修目標 (G I O) と 単位数	<ul style="list-style-type: none"> ・学修目標 (G I O) : 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と歯科医師国家試験の問題解決を行えるようになるために、歯科医学の科学的根拠に基づいた基礎的および臨床的知識を修得する。 ・単位数 : 5
講義実施要項	<p>1. 講義教室 : 400教室 2. 講義時間 : 午前8時40分~9時40分 3. 以下の6ユニットに分割する。講義日程参照。 ユニットⅠ : 基礎歯科医学領域 ユニットⅡ : 診断・小児歯科・矯正歯科・障害者歯科領域 ユニットⅢ : 歯科保存領域 ユニットⅣ : 補綴・インプラント領域 ユニットⅤ : 放射線・口腔外科 (インプラント含む) ・歯科麻酔・臨床検査 ユニットⅥ : 口腔衛生領域</p> <p>4. 講義は国家試験問題に基づいて基礎から臨床までの領域を理解することを目標とし、各ユニットを以下のように構成する。</p> <p>① <input type="checkbox"/> プレ試験 : 講義前の学力を評価する試験。歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。 ② <input type="checkbox"/> 講義 : 5年次において国家試験に備え学修すべき内容を提示し、基礎学力を向上させる講義を行う。 ③ <input type="checkbox"/> 平常試験 : 講義後の評価を行う試験。講義内容に沿った歯科医師国家試験過去問題の改変問題とする。 ④ <input type="checkbox"/> 解説講義 : 平常試験の結果から理解度が不足している項目を抽出し解説を行う。</p> <p>プレ試験 : 国試過去問題集実践2021 の改変問題を出題。一般問題、臨床実地問題ともに1点。 ユニット 国試出題範囲 <input type="checkbox"/> 実施日 <input type="checkbox"/> 試験時間</p> <p>Ⅰ <input type="checkbox"/> 基礎全範囲 <input type="checkbox"/> 10/1 <input type="checkbox"/> 8 : 40~9 : 30 Ⅱ <input type="checkbox"/> 104~113回 <input type="checkbox"/> 10/12 <input type="checkbox"/> 8 : 40~10 : 20 Ⅲ <input type="checkbox"/> 104~113回 <input type="checkbox"/> 11/4 <input type="checkbox"/> 8 : 40~10 : 20 Ⅳ <input type="checkbox"/> 104~113回 <input type="checkbox"/> 11/30 <input type="checkbox"/> 8 : 40~10 : 20 Ⅴ <input type="checkbox"/> 104~113回 <input type="checkbox"/> 1/12 <input type="checkbox"/> 8 : 40~10 : 20 Ⅵ <input type="checkbox"/> 104~113回 <input type="checkbox"/> 2/12 <input type="checkbox"/> 8 : 40~9 : 40</p> <p>平常試験 : 講義範囲より出題。一般問題、臨床実地問題ともに1点。 ユニット 試験区分 <input type="checkbox"/> 実施日 <input type="checkbox"/> 試験時間</p> <p>Ⅱ 平常試験 1 <input type="checkbox"/> 10/31 <input type="checkbox"/> 8 : 40~9 : 50 Ⅲ 平常試験 2 <input type="checkbox"/> 11/26 <input type="checkbox"/> 8 : 40~9 : 50 Ⅳ 平常試験 3 <input type="checkbox"/> 12/26 <input type="checkbox"/> 8 : 40~10 : 10 Ⅴ 平常試験 4 <input type="checkbox"/> 2/8 <input type="checkbox"/> 8 : 40~10 : 15 Ⅵ 平常試験 5 <input type="checkbox"/> 2/22 <input type="checkbox"/> 8 : 40~9 : 30</p>

評価方法 (E V)	<p>1. プレ試験 国試過去問題集実践2021 の改変問題を出題。一般問題、臨床実地問題ともに1点。プレ試験の追試験は原則実施しない。</p> <p>2. 平常試験 講義範囲より出題。一般問題、臨床実地問題ともに1点。平常試験の追試験は原則実施しない。</p> <p>3. 学力評価試験 歯科医師国家試験に準じた学力評価試験。学力評価試験の追試験は原則実施しない。 試験日 令和3年1月6日(水) 試験時間 9:30~12:05、13:30~16:05 試験問題数 (必修50問、一般108問、臨床実地52問の合計210問)</p> <p>4. 定期試験 試験日 令和3年3月1日(月) 試験時間 9:00~10:30(一般94問, 90分)、11:00~12:30(一般95問, 90分) 13:40~15:40(臨床実地42問, 120分) 講義内容だけでなくプレ試験範囲の国試過去問改変問題を2割程度出題する。一般問題、臨床実地ともに1点。</p> <p>歯科医学総合講義5の合格基準: 各試験の評価割合をプレ試験全正答率の10%、平常試験全正答率の20%、学力評価試験正答率の5%および定期試験正答率の65%を合計し、その正答率が68%以上の者を歯科医学総合講義5の合格者とする。</p> <p>追・再試験: 上記の合格基準に満たない者で定期試験を受験した者を再試験該当者とし、再試験受験手続をした者に行う。定期試験を病気など正当な理由で欠席し、追試験の手続きをした者に追試験を行う。 講義内容だけでなくプレ試験範囲の国試過去問改変問題を2割程度出題する。一般問題、臨床実地問題ともに1点。 試験日 令和3年3月12日(金) 試験時間 10:00~11:35(一般問題59問, 臨床実地12問, 95分)、13:00~14:35(一般問題59問, 臨床実地13問, 95分) 合格判定基準: 各試験の評価割合をプレ試験全正答率の10%、平常試験全正答率の20%、学力評価試験正答率の5%および追再試験正答率の65%を合計し、その正答率が68%以上の者を歯科医学総合講義5の合格者とする。 追・再試験は、定期試験合格者も実力試験として受験しなければならない。</p>
---------------	---

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/02 (金) 1時限 08:40~09:40	プレ試験問題解説 講義1	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭頸部の構造を形態学的に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: プレ試験 I (解剖学) の問題を確認する。 事前学修時間: 30分 事後学修項目: プレ試験 I (解剖学) の解説講義の内容を整理・復習する。 事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 スライドを使用</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 ア 頭頸部の部位</p>	松野 昌展
2020/10/03 (土) 1時限 08:40~09:40	プレ試験問題解説 講義2	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた理工学的知識を習得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有機材料の構造と物性との関係を説明できる。 2. 無機材料の構造と物性との関係を説明できる。 3. 金属材料の構造と物性との関係を説明できる。 4. 複合材料の構造と物性との関係を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目: プレ試験 I (歯科生体材料学) の問題を確認する。 事前学修時間: 30分 事後学修項目: プレ試験 I (歯科生体材料学) の解説講義の内容を整理・復習する。 事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 学修媒体: マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/03 (土) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 2	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 材料の種類 a 有機材料</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ア 材料の種類 b 無機材料 c 金属材料 d 複合材料</p>	谷本 安浩
2020/10/07 (水) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 5	<p>【授業の一般目標】</p> <p>臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた組織学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. エナメル質、象牙質・歯髄複合体およびセメント質の組織学的構造を説明できる。 2. 歯周組織の組織学的構造を説明できる。 3. 歯の発生、歯胚の構造を説明できる。 4. 口腔粘膜の組織学的構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：プレ試験問題の確認 準備学修時間：30分 事後学修項目：解説講義の復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p>	玉村 亮
2020/10/10 (土) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 8	<p>【授業の一般目標】</p> <p>臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた微生物および免疫学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 細菌・ウイルス・真菌感染症と病原微生物を説明できる。 2. 滅菌と消毒の種類と適応を説明できる。 3. プラークについて説明できる。 4. 免疫反応に関与する細胞および液性因子について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：プレ試験Ⅰの復習。 事前学修時間：30分 事後学修項目：配布プリントの確認と整理。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、配布プリント</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 e 感染症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫） イ 全身・口腔の生態系 c プラーク〈口腔バイオフィルム〉</p>	栗原 紀子
2020/10/13 (火)	医療面接	【授業の一般目標】	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:40	医療面接	<p>適切な診療を行うために医療面接に関する基本的事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 医療面接の意義・目的について説明できる。 3. 各種質問法について説明できる。 4. 解釈モデルについて説明できる。 5. 言語的・非言語的コミュニケーションについて説明できる。 6. 医療者の態度類型について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：医療面接の目的、質問法、コミュニケーションの基本 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応）</p>	*多田 充裕
2020/10/17（土） 1時限 08:40～09:40	高齢者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 高齢者の歯科治療における基本理念および医学的基礎知識と歯科診療上の配慮について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 高齢者の口腔の特徴について説明できる。 3. 高齢者の身体的特徴について説明できる。 4. 高齢者に多く認められる全身疾患について説明できる。 5. 高齢者における歯科治療上の注意事項を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 第2版（医歯薬出版） 準備学修時間：60分 事後学修項目：授業時配布資料を用いた内容確認と整理 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 c 高齢者の治療</p>	*矢口 学
2020/10/20（火） 1時限 08:40～09:40	不正咬合の原因	<p>【授業の一般目標】 適切な矯正治療を実践するために必要な、不正咬合の病態および原因について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 不正咬合の先天的原因について説明できる。 3. 不正咬合の後天的原因について説明できる。 4. 各種不正咬合の特徴を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：不正咬合の原因 準備学修時間：30分 事後学修項目：不正咬合の原因 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 p100-115</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 6 不正咬合病因・病態</p>	*五関 たけみ *菊田 純

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/20 (火) 1時限 08:40～09:40	不正咬合の原因	エ 不正咬合の原因	*五関 たけみ *菊田 純
2020/10/21 (水) 1時限 08:40～09:40	セファロ分析	<p>【授業の一般目標】 矯正治療におけるセファロ分析について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 各計測点について説明できる。 3. 各基準平面について説明できる。 4. 計測項目について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：セファロ分析項目 準備学修時間：30分 事後学修項目：セファロ分析項目 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 p157-169</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 イ 検査</p>	*五関 たけみ *杉森 匡
2020/10/22 (木) 1時限 08:40～09:40	治療計画の立案 1 (混合歯列期)	<p>【授業の一般目標】 混合歯列の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 上顎前突の形態的、機能的特徴を列挙できる。 3. 骨格性、機能的な下顎前突の特徴を述べることができる。 4. 上顎前突、下顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。 5. 開咬の形態的、機能的特徴を列挙できる。 6. 狭窄歯列の形態的、機能的特徴を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：混合歯列期の治療 準備学修時間：60分 事後学修項目：混合歯列期の治療 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 p263-284</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療</p>	*石井 かおり
2020/10/23 (金) 1時限 08:40～09:40	治療計画の立案 2 (永久歯列期)	<p>【授業の一般目標】 永久歯列期の矯正治療における治療方針、矯正装置および器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 抜歯、非抜歯の診断について説明できる。 3. 抜歯部位について説明できる。 4. マルチブラケット装置の治療について説明できる。 5. 固定および固定装置について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：抜歯非抜歯の判定 準備学修時間：30分 事後学修項目：永久歯列期の治療 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 p285-326</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療</p>	*清水 真美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/23 (金) 1時限 08:40～09:40	治療計画の立案2 (永久歯列期)	ウ 永久歯列期の不正咬合の治療	*清水 真美
2020/10/24 (土) 1時限 08:40～09:40	治療計画の立案3 (顎変形症)	<p>【授業の一般目標】 顎変形症患者の矯正治療を適切に行うために必要な診断、治療方針及び治療計画の立案について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. デンタルコンペンセーションを説明できる。 3. 外科的矯正治療の流れを説明できる。 4. 術前矯正治療について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：①骨格性下顎前突、骨格性上顎前突の特徴について ②外科的矯正治療とは 準備学修時間：30分 事後学修項目：外科的矯正治療について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：歯科矯正学 第6版 医歯薬出版 p345-352</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 10 不正咬合の治療 オ 顎変形症の治療</p>	*五関 たけみ
2020/10/26 (月) 1時限 08:40～09:40	歯の発育と異常	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯の発育と異常について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 年齢と歯の発育について説明できる。 3. 歯の形成障害について説明できる。 4. 萌出の異常について説明できる。 5. 歯数の異常について説明できる。 6. 形態の異常について説明できる。 7. 構造の異常について説明できる。 8. 色調の異常について説明できる。 9. その他の異常について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：『小児の口腔科学』 歯の発育と異常 準備学修時間：30分 事後学修項目：配布プリント 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：『小児の口腔科学』 第4版 学建書院</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 b 先天欠如 a 癒合歯、癒着歯、双生歯 b 異常咬頭・結節 d 矮小歯 f Hutchinsonian歯、Fournier歯 g タウロドント a 歯のフッ素症 b エナメル質形成不全{症} c 象牙質形成不全{症}</p>	*根本 晴子
2020/10/27 (火) 1時限 08:40～09:40	小児の歯科診療、 齲蝕と進行抑制	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療および齲蝕予防ができるようになるために、小児への対応、小児の齲蝕と進行抑制について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児への対応法を説明できる。 3. 小児の齲蝕の特徴を説明できる。 4. フッ化物の使用について説明できる。 5. シーラントについて説明できる。</p>	*小川 奈保

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/27 (火) 1時限 08:40～09:40	小児の歯科診療、 齲蝕と進行抑制	6. 口腔衛生指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：『小児の口腔科学』 齲蝕と予防 準備学修時間：30分 事後学修項目：配布プリント 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（LS）】 講義 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 d フッ化物応用 f 口腔清掃指導 b 幼若永久歯齲蝕	*小川 奈保
2020/10/28 (水) 1時限 08:40～09:40	小児期の歯冠修復 と歯内療法	【授業の一般目標】 小児歯科患者の保存処置ができるようになるために、小児の歯冠修復および歯内療法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯冠修復の適応症を説明できる。 3. 小児の歯冠修復の術式を説明できる。 4. 小児の歯内療法の適応症を説明できる。 5. 小児の歯内療法の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」齲蝕治療 準備学修時間：30分 事後学修項目：配布プリント 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」 【学修方略（LS）】 講義 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 乳歯の歯髄疾患と治療 c 幼若永久歯の歯髄疾患と治療	*小川 奈保
2020/10/29 (木) 1時限 08:40～09:40	小児の外傷歯への 対応	【授業の一般目標】 歯の外傷を主訴として来院する小児患者に対処できるようになるために、小児の歯の外傷の特徴、診査、診断および対応方法を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯の外傷の特徴を説明できる。 3. 小児の歯の外傷の原因を説明できる。 4. 外傷歯への影響を説明できる。 5. 乳歯外傷による後継永久歯への影響を説明できる。 6. 乳歯および幼若永久歯の歯冠破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 7. 乳歯および幼若永久歯の歯根破折の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 8. 乳歯および幼若永久歯の脱臼の診査と診断および処置法と予後を説明できる。 9. 小児の歯の外傷の予防を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」歯の外傷と処置 準備学修時間：30分 事後学修項目：配布プリント 事後学修時間：30分	*根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/29 (木) 1時限 08:40～09:40	小児の外傷歯への対応	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 イ 診察と診断、治療方針 a スポーツによる歯の外傷の予防</p>	*根本 晴子
2020/10/30 (金) 1時限 08:40～09:40	小児の外科的処置	<p>【授業の一般目標】 小児の口腔疾患に外科的対応をするために、小児期に行われる主な外科処置を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 炎症に対する対応を説明できる。 3. 小帯異常とその対応を説明できる。 4. 口唇に現れる病変とその対応を説明できる。 5. 歯肉に現れる病変とその対応を説明できる。 6. 舌に現れる病変とその対応を説明できる。 7. 顎骨内に現れる病変とその対応を説明できる。 8. 小児期の局所麻酔について説明できる。 9. 乳歯の抜歯について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：「小児の口腔科学」外科的処置 準備学修時間：30分 事後学修項目：配布プリント 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業スライド 参考図書：学建書院「小児の口腔科学」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 ウ ウイルス感染による疾患 a 単純疱疹</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 イ 口腔軟組織の疾患 c 萌出嚢胞 g 粘液嚢胞 i Riga-Fede病 b 水痘・帯状疱疹 c 手足口病 d ヘルパンギーナ e 麻疹</p>	*清水 邦彦
2020/11/05 (木) 1時限 08:40～09:40	硬組織欠損の検査と治療方針	<p>【授業の一般目標】 患者の訴える主訴から歯の硬組織疾患を推測して必要な検査を実施し、その結果から治療方針が決定できるようになるために、硬組織疾患の治療方針について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 患者の訴える主訴から歯の硬組織疾患を推測できる。 3. 歯の硬組織疾患の診断に必要な検査法を選択できる。 4. 検査法の特徴と実施方法について説明できる。 5. 硬組織疾患の検査結果をもとに治療方針を決定できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第5版 P.50～検査法 P.58～治療計画と評価 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配布資料 保存修復学第5版 同上 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	*神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/11/05 (木) 1時限 08:40～09:40	硬組織欠損の検査と治療方針	<p>歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p>	* 神谷 直孝
2020/11/06 (金) 1時限 08:40～09:40	齶蝕除去の臨床術式・器具および歯髄保護	<p>【授業の一般目標】 適切な齶蝕除去を行えるようになるために、齶蝕除去の術式と歯髄保護について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 齶蝕除去に必要な器具・器材について説明できる。 3. 齶蝕除去の臨床術式について説明できる。 4. 各種歯髄保護法について説明できる。 5. AIPCについて説明できる。 6. AIPCの術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学第5版 P.90～齶蝕病巣の除去法 P.127～修復システムと歯髄保護 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：該当範囲の国家試験過去問 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p>	* 寺中 文子
2020/11/09 (月) 1時限 08:40～09:40	齶蝕と非齶蝕性硬組織疾患の処置	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、使用する器具・器材の正しい取扱いについて修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復に用いる器材について説明できる。 3. 処置部位と窩洞形態に適した修復法を選択できる。 4. 齶蝕以外の歯の硬組織疾患に対するコンポジットレジン修復について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保存修復学(第6版)のP75～78およびP158～166を再読し予習する。 準備学修時間：40 事後学修項目：配布資料を再読し、重要事項の暗記および関連する国家試験過去問の見直しをする。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p>	* 岡田 珠美
2020/11/10 (火) 1時限 08:40～09:40	間接修復(メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー)の特徴、術式	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー修復を適切に行えるようになるために、窩洞の特徴、適応症、術式について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p>	* 寺中 文子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/11/10 (火) 1時限 08:40～09:40	間接修復 (メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレー) の特徴、術式	<p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。 3. セラミック・コンポジットレジンインレーの窩洞の特徴、適応症、術式について説明できる。 4. レジンコーティング法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：メタルインレー、セラミック・コンポジットレジンインレーの特徴と術式 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：該当範囲の国家試験過去問 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p>	*寺中 文子
2020/11/11 (水) 1時限 08:40～09:40	接着操作・術後管理・補修修復	<p>【授業の一般目標】 修復物に応じた正しい接着操作、術後管理、補修修復の術式・特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 修復物に応じた正しい接着操作について説明できる。 3. 修復処置後の術後管理について説明できる。 4. 補修修復の適応症について説明できる。 5. 補修修復の術式、手順について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：接着操作、術後管理、補修修復 (P. 181-184、P. 241-246) 準備学修時間：30分 事後学修項目：該当範囲の国家試験過去問 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復</p>	*岩井 啓寿
2020/11/12 (木) 1時限 08:40～09:40	歯内療法検査と診断 (顕微鏡含む)	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄疾患とその処置を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 主訴から必要な検査を選択する。 3. 検査結果から診断する。 4. 適切な処置方針を立てる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：歯髄炎・根尖歯周組織疾患の検査・診断 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 イ 歯周組織 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 b 歯髄・根管検査 c 歯周組織検査</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/11/12 (木) 1時限 08:40～09:40	歯内療法 of 検査と診断 (顕微鏡含む)	2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査	*松島 潔
2020/11/13 (金) 1時限 08:40～09:40	歯髄疾患と処置、治療	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、歯髄疾患とその処置を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 歯髄疾患の診断ができる 3. 歯髄疾患の処置方針を決定できる。 4. 歯髄疾患の処置について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目 過去の歯内療法 of のすべて 準備学修時間 1時間 事後学修項目 講義資料 事後学修時間 1時間</p> <p>【アクティブラーニング of の有無・学修媒体等】 アクティブラーニング of の有無 無 パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織 of 疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患 of 病因と病態 a 歯髄疾患</p>	*神尾 直人
2020/11/14 (土) 1時限 08:40～09:40	根尖歯周組織疾患と処置、治療	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患の適切な診療ができるようになるために、根尖歯周組織疾患と処置、治療について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. 根尖歯周組織疾患 of 診断ができる。 3. 根尖歯周組織疾患 of 処置方針が決定できる。 4. 根尖歯周組織疾患 of 処置が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目 過去の歯内療法 of のすべて 準備学修時間 1時間 事後学修項目 講義資料 事後学修時間 1時間</p> <p>【アクティブラーニング of の有無・学修媒体等】 アクティブラーニング of の有無 無 パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織 of 疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患 of 病因と病態 b 根尖性歯周疾患</p>	*神尾 直人
2020/11/16 (月) 1時限 08:40～09:40	根管形成・充填 (Ni-Tiを含む)、外科的歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患 of 適切な治療をするために、根管形成・充填 (Ni-Tiを含む)、外科的歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. ①根管形成について説明できる。 3. ②根管充填について説明できる。 4. ③外科的歯内療法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：根管形成法、根管充填法、外科的歯内療法 of 治療法 準備学修時間：1時間 事後学修項目：根管形成法、根管充填法、外科的歯内療法 of 治療法 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニング of の有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 学習媒体 パワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織 of 疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患 of 治療 d 根管処置</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	*吉田 陽子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/11/16 (月) 1時限 08:40～09:40	根管形成・充填 (Ni-Tiを含む)、 外科的歯内療法	<p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 g 外科的歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ⑤外科的歯内療法(手術用実体顕微鏡の利用を含む)の種類と適応を説明できる。</p>	* 吉田 陽子
2020/11/17 (火) 1時限 08:40～09:40	偶発症、漂白、高 齢者と歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周疾患の適切な診療ができるようになるために、偶発症、漂白、高齢者と歯内療法。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 高齢者の歯内療法について説明できる。 3. ウォーキングブリーチ法について説明できる。 4. 歯内療法における偶発症と対応法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：根管治療の原則 準備学修項目：1時間 事後学修項目：講義資料 事後学修項目：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。パワーポイント、配布資料。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 エ 高齢者の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 高齢者の歯髄疾患と治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 j 偶発症と安全対策 b 高齢者の根尖性歯周疾患と治療</p>	* 岡部 達
2020/11/19 (木) 1時限 08:40～09:40	最新の歯周治療	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生療法の種類、適応症と術式を習得し、再生療法による創傷治癒のメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離掻爬術について説明できる。 3. 歯周組織再生療法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学 第2版 第24章ティッシュエンジニアリング、第26章GTR法、第27章エナメルマトリックスタンパク質を用いた歯周組織再生療法 準備学修時間：1時間 事後学修項目：配布資料 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 配布プリントとパワーポイントを用いて行う。</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	* 小方 頼昌
2020/11/20 (金) 1時限	歯周病の診査・診 断	<p>【授業の一般目標】 歯周病の診査・診断および治療計画について理解できる。</p>	* 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
08:40～09:40	歯周病の診査・診断	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織検査の項目について列挙できる。 3. 歯周疾患の分類について説明できる。 4. 歯周治療の進め方について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方 ・準備学修時間：40分 ・事後学修項目：歯周組織検査：歯周疾患分類：歯周治療の進め方 ・事後学修時間：40分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査</p>	*吉野 祥一
2020/12/01（火） 1時限 08:40～09:40	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科補綴臨床における診査、診断、治療を適切に行うために、下顎運動に関する解剖学的事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 下顎運動と咀嚼筋の関連を説明できる。 3. 下顎限界運動に関わる靭帯等について説明できる。 4. 下顎位について説明できる。 5. 睡眠時無呼吸症とスポーツ歯科で使用する口腔内装置を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2020 の顎機能に関する範囲を参照。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2020 の顎機能に関する範囲を参照。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 6 口腔・顎顔面の機能 イ 運動 b 顎関節、下顎位、下顎運動</p>	*浅野 隆
2020/12/02（水） 1時限 08:40～09:40	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説2	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科補綴臨床における診査、診断、治療を適切に行うために、顎口腔機能に関する生理学的事項を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎機能に関わる基準点、基準線、基準面について説明できる。 3. 顎機能に関わる下顎位について説明できる。 4. 顎機能に関わる下顎運動について説明できる。 5. 顎機能に関わる咀嚼運動について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2020 の関連範囲を参照。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：実践 全部床義歯学、冠橋義歯学2020 の関連範囲を参照。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無し</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論</p>	*浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/02 (水) 1時限 08:40～09:40	顎口腔機能に関わる国家試験問題解説 2	<p>総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 a 下顎運動検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 イ 顎口腔機能検査 a 下顎運動検査</p>	*浅野 隆
2020/12/07 (月) 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の国家試験問題解説 4	<p>【授業の一般目標】 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の人工歯排列について理解できる。 3. 全部床義歯の歯齦形成について理解できる。 4. 全部床義歯の試適について理解できる。 5. 全部床義歯の埋没について理解できる。 6. 全部床義歯の重合について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：指定教科書および95回～111回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の予習 準備学修項目：1時間 事後学修項目：指定教科書および95回～111回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の復習 事後学修項目：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 95回～110回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料)</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 c 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ウ 技工操作 c 咬合器装着・調節</p>	*木本 統
2020/12/08 (火) 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の国家試験問題解説 5	<p>【授業の一般目標】 歯科医師国家試験問題に基づき全部床義歯を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の装着を説明できる。 3. 全部床義歯の調整を説明できる。 4. 全部床義歯の術後管理を説明できる。 5. 全部床義歯の患者教育を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：指定教科書および95回～111回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の予習 準備学修時間：1時間 事後学修項目：指定教科書および95回～111回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の復習 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 95回～110回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の予習</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 e 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 カ 治療効果の評価</p>	*木本 統
2020/12/12 (土) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説 2	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局部床義歯の診査・診断・前処置に関する国家試験問題を理解する。 3. 局部床義歯の診査・診断・前処置に関する国家試験問題を解くことができる。</p>	*飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/12 (土) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説 2	<p>4. 局部床義歯の設計に関する国家試験問題を理解する。 5. 局部床義歯の設計に関する国家試験問題を解くことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目は教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、実践 部分床義歯学 2018 の当該部分について 準備学習時間：1 時間 事後学習項目：講義内容について 事後学習時間：1 時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 国家試験問題集101～112回</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 a 設計の原則</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置</p>	*飯島 守雄
2020/12/14 (月) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説 3	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目について教授する。 2. 局部床義歯の印象採得に関する国家試験問題を理解する。 3. 局部床義歯の模型に関する国家試験問題を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、国家試験問題過去問 準備学修時間：1 時間程度 事後学習項目：教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、国家試験問題過去問 事後学習時間：1 時間程度</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無 国家試験問題集108～112回</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ウ 技工操作 b 作業用模型の製作</p>	*石井 智浩
2020/12/15 (火) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説 4	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局部床義歯の咬合採得に関する国家試験問題を理解する。 3. 局部床義歯の口腔内装着に関する国家試験問題を理解する。 4. 局部床義歯の特殊な義歯に関する国家試験問題を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目は教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）、実践 部分床義歯学 2018 の当該部分について 準備学習時間 1 時間 事後学習項目：講義内容について 事後学習時間 1 時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 国家試験問題集101～112回</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療</p>	*飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/15 (火) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説4	イ 臨床操作 c 顎間関係の記録 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 7 特殊な装置による治療 ア 顎顔面補綴装置	*飯島 守雄
2020/12/17 (木) 1時限 08:40～09:40	クラウンブリッジの要件、ブリッジの支台装置、ボンテック、連結部について	【授業の一般目標】 クラウンブリッジの診療を行うために、クラウンブリッジの要件を理解し、ブリッジの基本構成を説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. クラウンブリッジの要件を列挙することができる。 3. クラウンブリッジの要件に該当する項目を説明できる。 4. ブリッジの基本構成を説明できる。 5. 支台装置の種類と特徴を説明できる。 6. ボンテックの種類と特徴および適応を説明できる。 7. ブリッジの種類を記述し、その特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学 第5版 の授業項目に掲げた内容を予習する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：配布プリントの復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略(LS)】 講義 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 f 補綴装置の評価	*田中 孝明
2020/12/19 (土) 1時限 08:40～09:40	支台歯形成・プロビジョナルレストレーション・印象採得	【授業の一般目標】 適切なクラウンブリッジを装着するために必要な支台歯形成・プロビジョナルレストレーション・印象採得を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 支台歯形成について説明することができる 3. プロビジョナルレストレーションについて説明することができる 4. 印象採得について説明することができる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：支台歯形成、プロビジョナルレストレーション、印象採得についての国家試験過去問を全て理解しておく。 ・準備学修時間：180分 ・事後学修項目：支台歯形成、プロビジョナルレストレーション、印象採得についての国家試験過去問 ・事後学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略(LS)】 講義 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成	*大村 祐史
2020/12/21 (月) 1時限 08:40～09:40	作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没	【授業の一般目標】 クラウンブリッジの診療を行うために作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 作業模型の必要事項について説明できる、 3. 咬合採得の方法について説明できる。 4. 咬合採得に使用する材料について説明できる。 5. 咬合器付着の方法について説明できる。 6. 咬合器のプログラミングについて説明できる。 7. ろう型形成の方法について説明できる。 8. ろう型形成に使用する材料について説明できる。 9. 埋没の方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：第5版クラウンブリッジ補綴学、クラウンブリッジ補綴学実習指針の作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没の項目 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：講義資料 ・事後学修時間：60分	*大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/21 (月) 1時限 08:40～09:40	作業模型、咬合採得、咬合器付着、ろう型形成、埋没	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：パワーポイント、プリント配布</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ウ 技工操作 a ロストワックス法による製作</p>	*大村 祐史
2020/12/22 (火) 1時限 08:40～09:40	鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理	<p>【授業の一般目標】 適切なクラウンブリッジの治療を行うために鑄造、ろう付け、研磨、試適、術後管理について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2.クラウンブリッジの鑄造について説明できる。 3.クラウンブリッジの研磨について使用機材と特徴について説明できる。 4.クラウンブリッジの試適について意義と調整方法を説明できる。 5.クラウンブリッジの術後管理について意義と方法必要性について述べる事ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学 第5版 第3章ロストワックス法による製作 III埋没・鑄造・熱処理・研磨 第4章装着と術後管理を予習する。 準備学習時間30分 事後学修項目：配布プリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導</p>	*田中 孝明
2020/12/23 (水) 1時限 08:40～09:40	口腔インプラントの国家試験問題解説	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2.インプラント義歯設計について説明できる。 3.インプラント治療の臨床操作について説明できる。 4.インプラント治療の技工操作について説明できる。 5.インプラント治療の指導と管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：104回～112回歯科医師国家試験過去問題の予習 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：104回～112回歯科医師国家試験過去問題の復習 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し</p> <p>【学修方略（L S）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p>	*村上 洋
2020/12/24 (木) 1時限 08:40～09:40	インプラントの上部構造・補綴治療	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.インプラント補綴の術式を説明できる。 2.インプラント上部構造の種類を説明できる。 3.インプラント治療の特徴、他の補綴治療との比較を説明できる。 4.臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。 ・準備学修時間：30分 ・準備学修項目：講義資料 ・準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・教室にてマルチメディアを使った講義</p>	*北川 剛至

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/24 (木) 1時限 08:40～09:40	インプラントの上部構造・補綴治療	<p>・アクティブラーニング無し</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 d 印象採得 f 顎間関係の記録 h 装着</p>	*北川 剛至
2021/02/13 (土) 1時限 08:40～09:40	口腔衛生総論	<p>【授業の一般目標】 適切な歯科疾患の予防・管理を行うために健康増進と疾病予防の概念について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.ヘルスプロモーションについて理解する。 2.プライマリヘルスケアについて理解する。 3.健康日本21（第二次）について理解する。 4.メタボリックシンドロームについて理解する。 5.健康増進法について理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：健康増進と疾病予防の概念について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：健康増進と疾病予防の概念について復習を行う。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 c ヘルスプロモーション</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 b プライマリヘルスケア d 健康日本21（第二次） e メタボリックシンドローム f 行動レベル、行動変容</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。 ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 ①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。 ②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。 ③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。</p>	*有川 量崇
2021/02/15 (月) 1時限 08:40～09:40	齲蝕の予防・管理	<p>【授業の一般目標】 適切な歯科疾患の予防・管理を行うために齲蝕の病因、ライフステージと齲蝕、予防手段について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.齲蝕の病因について説明できる。 2.齲蝕活動性試験・評価について説明できる。 3.ライフステージにおける齲蝕について説明できる。 4.齲蝕の予防手段について説明できる。 5.齲蝕予防におけるフッ化物の応用を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：齲蝕の病因、齲蝕活動性試験・評価、齲蝕の予防手段について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：齲蝕の病因、齲蝕活動性試験・評価、齲蝕の予防手段について復習を行う。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/02/15 (月) 1時限 08:40～09:40	齲蝕の予防・管理	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理</p>	田口 千恵子
2021/02/17 (水) 1時限 08:40～09:40	歯科疾患の統計指標	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防・管理を行うために、歯科領域における統計指標（齲蝕、歯周疾患、歯口清掃状態）について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 疫学の定義と目的について述べることができる。 2. 齲蝕の統計指標について説明することができる。 3. 歯周疾患の統計指標について説明することができる。 4. 口腔清掃状態の統計指標について説明することができる。 5. 歯のフッ素症の指標について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯科疾患の統計指標について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：歯科疾患の統計指標について復習を行う。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 ア 疫学とその応用 g 歯科集団検診</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 6 疫学と調査 イ 指標と調査 a 歯科領域における統計指標と疫学調査 b 歯周疾患の疫学要因 c 不正咬合の疫学要因 d 口腔癌の疫学要因</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 歯科疾患の疫学 ③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。 B-4-2) 保健統計 ②主な保健医療統計（歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等）を説明できる。 ④調査方法と統計的分析法を説明できる。</p>	*有川 量崇
2021/02/18 (木) 1時限 08:40～09:40	歯周疾患の予防・管理	<p>【授業の一般目標】 適切な歯周疾患の予防・管理のために歯周疾患や口臭の病因、予防手段について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患の病因について説明できる。 2. 歯周疾患のリスクファクター・診断について説明できる。 3. 歯周疾患の予防方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯周疾患の病因、リスクファクター、診断について、予習する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：歯周疾患の病因、リスクファクター、診断について、復習する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 a 歯肉炎の予防・管理</p>	田口 千恵子
2021/02/19 (金) 1時限 08:40～09:40	医療経済と国民医療費	<p>【授業の一般目標】 医療経済学を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 行政経験に基づき、以下の内容を教授する。 2. ・医療と経済学の関係を理解する 3. ・医療経済学の経済的基礎を理解する 4. ・医療経済からみた国民医療費を理解する</p>	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/02/19 (金) 1時限 08:40～09:40	医療経済と国民医療費	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：医療経済学の定義と関連用語 ・準備学修時間：120分 ・事後学修項目：医療経済学の意義と意味 ・事後学修時間：180分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 イ 保健・医療・福祉・介護の制度と医療経済 h 国民医療費、社会保障費</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 4 社会保障と医療経済 ア 社会保障と医療経済 c 医療経済と国民医療費</p>	
2021/02/20 (土) 1時限 08:40～09:40	地域歯科保健	<p>【授業の一般目標】 適切な健康管理を行うために、地域歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域歯科保健について説明できる。 2. 母子歯科保健について説明できる。 3. 学校歯科保健について説明できる。 4. 産業歯科保健について説明できる。 5. 老人歯科保健について説明できる。 6. 障害者・障害児歯科保健について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：地域保健活動について予習を行う。 準備学修時間：30分 事後学修項目：地域保健活動について復習を行う。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無：プロジェクター使用</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度 ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 a 現状、動向</p>	後藤田 宏也
2021/03/17 (水) 1時限 08:40～09:40	組織学	<p>【授業の一般目標】 人体を構成する細胞・組織の内部構造を理解するために、組織学の基本的事項に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 細胞の構成要素を説明できる。 2. 上皮組織の種類と特徴を説明できる。 3. 支持組織の種類と特徴を説明できる。 4. 筋組織の種類と特徴を説明できる。 5. 神経組織を構成する細胞とその特徴を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：人体を構成する細胞および4つの組織について 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義資料の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体等：プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 d 組織（上皮組織、結合（支持）組織（血液を含む）、筋組織、神経組織）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 c 細胞・細胞小器官の構造と機能</p>	玉村 亮
2021/03/18 (木) 1時限 08:40～09:40	解剖学	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた解剖学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理</p>	松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	解剖学	<p>解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 骨の一般構造を説明できる。 2. 全身の骨を説明できる。 3. 骨格筋の一般構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義資料 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし スライド、配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p>	松野 昌展
2021/03/22 (月) 1時限 08:40～09:40	感染免疫学	<p>【授業の一般目標】 感染防御における免疫のしくみを理解するために、免疫機構の基本的知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 免疫系の基本的な構成要素について説明できる。 2. 免疫担当細胞の種類を説明できる。 3. 自然免疫について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：免疫機構の全体の流れを学習する。 準備学修時間：1時間 事後学修項目：教科書、プリントの復習 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：スライド、補助プリントなどの講義資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫）</p>	落合 智子
2021/03/24 (水) 1時限 08:40～09:40	薬理学	<p>【授業の一般目標】 薬物療法を理解するために、薬理学の基本的事項に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の作用機序について説明できる。 2. 薬物動態について説明できる。 3. 薬物の副作用について説明できる。 4. 薬物の相互作用について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：第113回歯科医師国家試験の薬理学関連問題を解く。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態 d 薬物の副作用・有害事象の種類・機序・対策</p>	松本 裕子
2021/03/25 (木) 1時限	歯科生体材料学	<p>【授業の一般目標】 歯科材料を適切に使用するために、歯科理工学の基礎知識を習得する。</p>	谷本 安浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
08:40～09:40	歯科生体材料学	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機材料の種類および性質を説明できる。 2. 無機材料の種類および性質を説明できる。 3. 複合材料の種類および性質を説明できる。 4. 金属材料の種類および性質を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：SBOsについて教科書および過去に配布した講義プリントを確認する。</p> <p>事前学修時間：30分</p> <p>事後学修項目：講義で配布したプリントの内容（歯科材料の基本的性質）を整理・復習する。</p> <p>事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2 治療の基礎・基本手技 7 歯科材料・機器 a 基本的性質 	谷本 安浩

基礎歯科医学領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	加藤 治（生理学）

学修ユニット 学修目標 (GIO)	
担当教員	*清水 武彦
評価方法 (EV)	
学生への メッセージ オフィスアワー	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/05（月） 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義3	<p>【授業の一般目標】</p> <p>病因・病態を理解するために、病因、6大病変及び主な口腔疾患の病態について学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 病因を列挙することができる。 3. 6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。 4. 主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>事前学修項目：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病因論と6大病変の概要 <p>・事前学修時間：30分</p> <p>事後学修項目：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 講義の炎症問題の復習 <p>・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングの有無：なし</p> <p>マルチメディアの使用</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念 <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅲ 病因、病態</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病因、病態 ア 内因、外因 a 代謝障害（変性） 	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/05 (月) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 3	d 創傷治癒 b 局所の循環障害 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞 c 病因 d 分類と病態 e 組織学的構造	*宇都宮 忠彦
2020/10/06 (火) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 4	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 神経系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。 2. 内分泌系による恒常性の維持メカニズムを説明できる。 3. 循環と呼吸の調節機構を説明できる。 4. 感覚の伝導と成立を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：プレ試験 I の復習 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義の復習、問題集 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p>	加藤 治
2020/10/08 (木) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 6	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた生化学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人体を構成する成分について説明できる。 2. 遺伝子からタンパク質合成までを説明できる。 3. 細胞外基質や骨代謝を説明できる。 4. 歯の硬組織や唾液の組成とその機能を説明できる。 5. 炎症、う蝕や歯周病の成り立ちを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：プレ試験 I の復習 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義内容の復習 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 b ゲノム、遺伝子、染色体 c 細胞・細胞小器官の構造と機能 歯科医学総論 総論 II 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 b 歯周組織 6 口腔・顎顔面の機能 オ 唾液分泌 a 唾液の性状、機能 歯科医学各論 各論 II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態</p>	竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/08 (木) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 6	a 齶蝕の病因	竹内 麗理
2020/10/09 (金) 1時限 08:40～09:40	プレ試験問題解説 講義 7	<p>【授業の一般目標】 臨床実習で遭遇する症例の問題解決と円滑な臨床実習を行うために、歯科医学の科学的根拠に基づいた薬理学的知識を修得し、国家試験問題の解決方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の作用機序について説明できる。 2. 薬物動態について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：プレ試験 I の復習。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布プリントの内容確認と整理。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：マルチメディア、プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 b 薬効</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 VII 治療 8 薬物療法 ア 薬物の選択 c 薬物動態</p>	松本 裕子

診断・小児・矯正・障害者領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	*岡本 京 (小児歯科学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	
担当教員	*清水 武彦
評価方法 (EV)	
学生への メッセージ オフィスアワー	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/14 (水) 1時限 08:40～09:40	POSとPOMR	<p>【授業の一般目標】 十分な情報収集・情報の整理を行い、患者中心の医療を実践するために、問題指向型診療録について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 問題解決過程について説明できる。 3. POSについて説明できる。 4. SOAPについて説明できる。 5. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：臨床実習において実践したPOMRの内容確認 ・準備学修時間：15分 ・事後学修項目：POMRの構成、SOAP記載に関する知識の確認 ・事後学修時間：15分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型)の管理・保存</p>	*岡本 康裕
2020/10/15 (木) 1時限 08:40～09:40	障害者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】 障害者歯科保健に関わる基本理念、障害に関する医学的知識と歯科医療の配慮および障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本知識と概念を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 障害者の主な口腔症状について説明できる。 3. 障害者の主な歯科治療について説明できる。 4. 先天異常ならびに症候群について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床実習にて作成したノートの内容を確認しておくこと 準備学修時間：30分 事後学修項目：障害者の特徴、口腔所見、歯科治療について確認しておくこと 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 診察 3 障害者への対応 ア 障害の概念</p>	*三田村 佐智代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/10/15 (木) 1時限 08:40～09:40	障害者の歯科治療	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論V 診察 3 障害者への対応 ウ 行動調整 エ 診察 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理</p>	*三田村 佐智代
2020/10/16 (金) 1時限 08:40～09:40	障害者の歯科治療	<p>【授業の一般目標】</p> <p>障害者歯科保健に関わる基本理念、障害に関する医学的知識と歯科医療の配慮および障害者地域歯科医療における課題解決に必要な基本知識と概念を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 障害者の主な口腔症状について説明できる。 3. 障害者の主な歯科治療について説明できる。 4. 先天異常ならびに症候群について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：臨床実習にて作成したノートの内容を確認しておくこと 準備学修時間：30分 事後学修項目：障害者の特徴、口腔所見、歯科治療について確認しておくこと 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングなし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論V 診察 3 障害者への対応 ア 障害の概念</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論V 診察 3 障害者への対応 ウ 行動調整 エ 診察 オ 歯科治療上留意すべき事項 カ 健康支援、患者管理</p>	*三田村 佐智代
2020/10/19 (月) 1時限 08:40～09:40	訪問歯科診療	<p>【授業の一般目標】</p> <p>居宅や老人福祉施設におけるスペシャルニーズのある人に対する歯科治療やそれらを取り巻く環境について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 訪問歯科診療について説明できる。 3. 訪問歯科診療の対象について説明できる。 4. 居宅について説明できる。 5. 老人福祉施設について説明できる。 6. 社会保障制度について説明できる。 7. 地域医療連携について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学習項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科第2版「地域における障害者歯科」P26-37。準備学習時間60分 事後学修項目：講義内容と配布資料を確認・整理する。事後学習時間60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 3 チーム医療 ア チーム医療の意義 a 多職種連携</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 8 在宅医療、在宅支援 ア 訪問歯科診療 a 訪問歯科診療器材 b 保健指導 イ 多職種協働</p>	*梅澤 幸司

保存修復・歯内療法・歯周病領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	*岩井 啓寿 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	
担当教員	*清水 武彦
評価方法 (EV)	
学生への メッセージ オフィスアワー	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/11/21 (土) 1時限 08:40~09:40	歯周基本治療・咬合治療	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の項目を列挙できる。 3. 歯周基本治療の内容について説明できる。 4. 歯周基本治療の目的を理解する。 5. 炎症性因子および外傷性因子の除去療法を理解する。 6. 歯周基本治療で行う薬物療法について理解する。 7. 歯周外科治療への移行期を理解する。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学 第3章～第7章 準備学修時間：2時間 事後学修項目：臨床歯周病学 第3章～第7章 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイントを用いて行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 合性外傷に対する治療 h 薬物療法</p>	*目澤 優
2020/11/24 (火) 1時限 08:40~09:40	歯周外科治療・メンテナンス・SP T	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の適応症と術式を習得し、その後のメンテナンスおよびSPTについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術について説明できる。 3. 歯肉切除術について説明できる。 4. 歯肉剥離搔爬術について説明できる。 5. 歯周組織再生療法について説明できる。 6. 歯周形成外科手術について説明できる。 7. メンテナンスおよびSPTについて説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：臨床歯周病学 第8章歯周外科治療、第28章歯周形成手術 準備学修時間：1時間 事後学修項目：配布資料 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し。 配布プリントとパワーポイントを用いて行う。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p>	*高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/11/24 (火) 1時限 08:40～09:40	歯周外科治療・メンテナンス・SP T	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p>	*高井 英樹
2020/11/25 (水) 1時限 08:40～09:40	全身疾患関連および特殊な歯周疾患とその治療法	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯周疾患の全身的宿主因子のメカニズムを理解し、全身疾患関連および特殊な歯周疾患とその治療法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する 2. 全身性宿主因子（遺伝性疾患、非遺伝性疾患）を列挙できる 3. ペリオドンタルメディシンを列挙できる 4. 糖尿病と歯周疾患の関連とそのメカニズムを説明できる 5. 糖尿病患者の歯周病治療の注意事項および治療効果について説明できる 6. 妊娠性歯肉炎とその治療方法について説明できる 7. 剥離性歯肉炎とその治療法について説明できる 8. 壊死性歯周疾患とその治療法について説明できる <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：全身性宿主因子およびペリオドンタルメディシンを列挙できる。 準備学修時間：30分 事後学修項目：糖尿病患者および特殊な歯周疾患の歯周病治療について説明できる。 事後学修時間：50分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングなし。 パワーポイントによる講義，プリント配布。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 d 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 j 歯周疾患と健康の関わり</p>	*中山 洋平

補綴・インプラント領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	*小林 平 (クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	国家試験の過去問題の解説を通して、補綴・インプラント領域の項目の学修を行う。
担当教員	*浅野 隆、*矢崎 貴啓、*中田 浩史、*木本 統、*大久保 昌和、*飯島 守雄、*石井 智浩、*伊藤 誠康、*田中 孝明、*小林 平、*大村 祐史、*村上 洋、*北川 剛至
評価方法 (EV)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/03 (木) 1時限 08:40~09:40	全部床義歯の国家試験問題解説1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師国家試験問題に基づき全部床義歯を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 無歯顎患者に必要な診察、検査を行い評価することができる。 3. 全部床義歯装着者の主要症候、検査、治療について説明することができる。 4. 無歯顎患者の補綴治療に先立ち、前処置の目的と意義を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 95回-112回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の予習 準備学修項目: 実践 準備学修時間: 2時間 事後学修項目: 実践 事後学修時間: 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p>	*矢崎 貴啓
2020/12/04 (金) 1時限 08:40~09:40	全部床義歯の国家試験問題解説2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 全部床義歯の咬合採得について説明することができる。 3. 全部床義歯製作に用いる咬合器について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 95回-112回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の予習 準備学修項目: 実践 準備学修時間: 2時間 事後学修項目: 実践 事後学修時間: 2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p>	*矢崎 貴啓
2020/12/05 (土) 1時限 08:40~09:40	全部床義歯の国家試験問題解説3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師国家試験に基づき全部床義歯を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 無歯顎患者の診査・診断と前処置について理解することができる。 3. 全部床義歯の製作にあたり印象について理解することができる。 4. 全部床義歯の製作にあたり模型・咬合床について理解することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 96回-112回歯科医師国家試験過去問題集 (配布資料) の予習 準備学修項目: 歯科医師国家試験過去問題集を学修する。 準備学修時間: 60分 事後学修項目: 科医師国家試験過去問題集を理解する。</p>	*中田 浩史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/05 (土) 1時限 08:40～09:40	全部床義歯の国家試験問題解説 3	事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 学修媒体：96回～112回歯科医師国家試験過去問題集（配布資料） 配布資料とパワーポイントを用いて行う。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 a 前処置 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 5 全部床義歯による治療 イ 臨床操作 b 印象採得	*中田 浩史
2020/12/11 (金) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説 1	【授業の一般目標】 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局部床義歯の構成要素に関する国家試験問題を理解する。 3. 局部床義歯の構成要素に関する国家試験問題を解くことができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書（歯学生のパーシャルデンチャー、スタンダードパーシャルデンチャー補綴学）ならびに実践部分床義歯学2021 準備学修時間：60分 事後学修項目：配布資料の復習 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 配布資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 4 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 b 義歯の構成要素	*大久保 昌和
2020/12/16 (水) 1時限 08:40～09:40	局部床義歯学の国家試験問題解説 5	【授業の一般目標】 局部床義歯学の国家試験の問題を理解し、解くことができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局部床義歯の術後管理に関する国家試験問題を理解する。 3. 局部床義歯のリライン・リベースに関する国家試験問題を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：局部床義歯の術後管理、局部床義歯のリライン・リベース 準備学修時間：60分 事後学修項目：講義内容の整理 事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し 学修媒体：96回～113回歯科医師国家試験過去問題集 配布資料とパワーポイントを用いて行う。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 イ 補綴装置に対する指導 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 ウ 口腔機能向上に関する指導	*伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/12/18 (金) 1時限 08:40～09:40	ブリッジの種類、 診査診断、治療計 画、前処置	<p>【授業の一般目標】 適切なクラウンブリッジの診療を行うために、クラウンブリッジの種類を理解し、診査診断情報から治療計画を立案し、必要な前処置について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 治療計画を左右する因子について説明することができる。 3. クラウンブリッジの診療において、各検査の意義と内容を説明できる。 4. クラウンブリッジの治療に必要な診査診断を説明することができる。 5. クラウンブリッジの治療計画を立案することができる。 6. クラウンブリッジの前処置を説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：教科書および国家試験過去問 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義資料 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 ア クラウンブリッジの設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 a 前処置 2 診察、検査、診断 エ 治療計画の立案 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断</p>	*小林 平

放射線・口腔外・麻酔・臨床検査

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	*濱野 美緒 (口腔外科学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	
担当教員	*清水 武彦
評価方法 (EV)	
学生への メッセージ オフィスアワー	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/13 (水) 1時限 08:40~09:40	下顎骨骨折について	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 顎骨骨折について説明できる。 3. 下顎骨骨折の特徴を説明できる。 4. 下顎骨骨折の好発部位を説明できる。 5. 下顎骨骨折の治療法を説明できる。 6. 下顎骨骨折の固定法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：下顎骨骨折について教科書で勉強する 準備学修時間：30分 事後学修項目：下顎骨骨折について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 c 下顎骨骨折</p>	*山本 泰
2021/01/14 (木) 1時限 08:40~09:40	上顎骨骨折について	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 2. 顎骨骨折について説明できる。 3. 上顎骨骨折の特徴を説明できる。 4. 上顎骨骨折の好発部位を説明できる。 5. 上顎骨骨折の治療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：上顎骨骨折について教科書で勉強する 準備学修時間：30分 事後学修項目：上顎骨骨折について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 d 上顎骨骨折</p>	*山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/14 (木) 1時限 08:40～09:40	上顎骨骨折について		*山本 泰
2021/01/15 (金) 1時限 08:40～09:40	薬物と顎骨骨髄炎について	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. ビスホスホネートの適応症を説明できる。 3. ビスホスホネートの作用機序を説明できる。 4. 歯科治療とビスホスホネートの関連を説明できる。 5. ビスホスホネート服用患者の外科処置について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：薬物と顎骨骨髄炎について教科書で学習する 準備学修時間：30分 事後学修項目：薬物と顎骨骨髄炎について教科書、授業プリント及び国家試験過去問題集で学習する 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：授業時配布資料、教科書</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 f 薬剤関連顎骨疾患</p>	*濱野 美緒
2021/01/16 (土) 1時限 08:40～09:40	抜歯について	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 単純・複雑・埋伏歯の抜歯の術式を説明できる。 3. 抜歯の禁忌症を説明できる。 4. 抜歯の偶発症を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：抜歯についての基本を教科書を用いて確認しておく。 準備学修時間：30分 事後学修項目：抜歯についての基本を教科書、授業配布資料及び国家試験過去問題集を用いて復習しておく。 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 a 抜歯</p>	*濱野 美緒
2021/01/18 (月) 1時限 08:40～09:40	炎症性疾患について	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨の炎症について説明できる。 3. 軟組織の炎症について説明できる。 4. 炎症の波及について説明できる。 5. 膿瘍について説明できる。 6. 蜂窩織炎について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：4年で行った炎症のプリントを参照 事前学習時間：60分 事後学習項目：炎症について4年次に使用した教科書プリントを合わせて再度熟読する。 事後学修時間：2時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	*西村 均

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/18 (月) 1時限 08:40～09:40	炎症性疾患について	<p>【場所（教室/実習室）】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 d 歯性上顎洞炎</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 b 口腔軟組織の炎症 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 c 顎骨骨髓炎 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療 a 歯冠周囲炎〈智歯周囲炎〉</p>	*西村 均
2021/01/19 (火) 1時限 08:40～09:40	ウイルス疾患について	<p>【授業の一般目標】 顎口腔領域の疾患を診断し治療計画が立てられるようになるために、疾患の特徴や治療法を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔に関連するウイルスの種類を列記できる。 3. 口腔に関連するウイルスの特徴を説明できる。 4. ウイルス疾患の治療法と対処法を説明できる。 5. 単純疱疹について説明できる。 6. 帯状疱疹について説明できる。 7. ヘルパンギーナについて説明できる。 8. 手足口病について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：口腔に関連するウイルスについて教科書を読んで予習すること。 準備学修時間：60分 事後学修項目：口腔に関連するウイルスについて教科書、配布資料、国家試験過去問題集を用いて復習すること。 事後学修時間：90分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 イ 口腔症状を呈するウイルス感染症 e 単純疱疹</p>	*山口 桜子
2021/01/20 (水) 1時限 08:40～09:40	心臓弁膜疾患の歯科治療時の注意点について	<p>【授業の一般目標】 全身疾患（心臓弁膜疾患）患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 心臓弁膜疾患の病態について説明することができる。 3. 心臓弁膜疾患患者の局所麻酔時注意点について説明することができる。 4. 心臓弁膜疾患患者の外科処置時の注意点について説明することができる。 5. 感染性心内膜炎の病態について説明することができる。 6. 感染性心内膜炎予防処置について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版 p74-75. 事前学修時間：30分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ウ 呼吸器・循環器系</p>	*下坂 典立 *中村 真実

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/20 (水) 1時限 08:40～09:40	心臓弁膜疾患の歯科治療時の注意点について	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患 b 循環器疾患</p>	*下坂 典立 *中村 真実
2021/01/21 (木) 1時限 08:40～09:40	局所麻酔時の合併症 その1	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔時の合併症に適切に対応できるようになるために、留意すべき事項とその対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 局所麻酔薬中毒について説明することができる。 3. 局所麻酔薬中毒の原因について説明することができる。 4. 局所麻酔薬中毒発症時の対応について説明することができる。 5. 局所麻酔薬中毒の予防について説明することができる。 6. アナフィラキシーショックについて説明することができる。 7. アナフィラキシーショックの原因について説明することができる。 8. アナフィラキシーショック発症時の対応について説明することができる。 9. アナフィラキシーショックの予防について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「15. 歯科治療における全身的偶発症」で予習してください。 ・準備学修時間：60分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 c 局所麻酔薬中毒</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 d アナフィラキシーショック</p>	*下坂 典立
2021/01/22 (金) 1時限 08:40～09:40	局所麻酔時の合併症 その2	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔時の合併症に適切に対応できるようになるために、留意すべき事項とその対応について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 血管迷走神経反射および神経性ショックについて説明することができる。 3. 血管迷走神経反射および神経性ショックの原因について説明することができる。 4. 血管迷走神経反射および神経性ショック発症時の対応について説明することができる。 5. 血管迷走神経反射および神経性ショックの予防について説明することができる。 6. 過換気症候群について説明することができる。 7. 過換気症候群の原因について説明することができる。 8. 過換気症候群発症時の対応について説明することができる。 9. 過換気症候群の予防について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）「15. 歯科治療における全身的偶発症」で予習してください。 ・準備学修時間：60分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 ・アクティブラーニング：無し。 ・学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 a 血管迷走神経反射</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p>	*下坂 典立

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/22 (金) 1時限 08:40～09:40	局所麻酔時の合併症 その2	<p>歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ソ 歯科における全身的偶発症とその対応 b 過換気症候群</p>	*下坂 典立
2021/01/23 (土) 1時限 08:40～09:40	静脈内鎮静法について	<p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、精神鎮静法特に静脈内鎮静法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 精神鎮静法の概念について説明することができる。 3. 静脈内鎮静法について説明することができる。 4. 静脈内鎮静法に使用する薬物について説明することができる。 5. 静脈内鎮静法時の呼吸抑制について、その原因と対応について説明することができる。 6. 静脈路確保について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）、「12. 精神鎮静法」で予習してください。 準備学修時間：45分。 事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 事後学修項目：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ウ 麻酔 d 精神鎮静法</p>	*下坂 典立
2021/01/25 (月) 1時限 08:40～09:40	心電図について	<p>【授業の一般目標】 安全で快適な患者管理を行うために、歯科医師が理解すべき不整脈について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 心電図検査について説明することができる。 3. 心臓の解剖学的電気現象について説明することができる。 4. 心電図波形について説明することができる。 5. 上室性期外収縮について説明することができる。 6. 上室性期外収縮発症時に投与すべき薬物について説明することができる。 7. 心室性期外収縮について説明することができる。 8. 心室性期外収縮発症時に投与すべき薬物について説明することができる。 9. 注射法について説明することができる。 10. 静脈注射について説明することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学（第3版）、「4. 管理上問題となる疾患」で予習してください。 ・準備学修時間：45分。 ・事後学修項目：授業で配布した資料および講義中記載した内容。 ・事後学修時間：60分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：配付資料。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 イ 周術期の管理 e 術中管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理 b 術中管理</p>	*下坂 典立
2021/01/26 (火) 1時限 08:40～09:40	気管支喘息・ステロイドについて	<p>【授業の一般目標】 呼吸器疾患患者に適切に対応できるようになるために、全身管理に留意すべき事項について理解する。</p>	*鈴木 正敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/26 (火) 1時限 08:40～09:40	気管支喘息・ステロイドについて	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 呼吸機能検査について説明できる。 3. 換気障害の分類について説明できる。 4. 呼吸疾患患者に対する術前の評価法について説明できる。 5. 閉塞性換気障害の病態について説明できる。 6. 拘束性換気障害の病態について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版 p24-28, 75-78. 準備学修時間：30分。 事後学修項目：授業配布プリント、講義中記載した内容。 準備学修時間：90分。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し。 学修媒体：授業スライド。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ウ 呼吸器・循環器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 4 生体機能検査 ア 臓器機能検査 a 呼吸機能検査</p>	*鈴木 正敏
2021/01/27 (水) 1時限 08:40～09:40	口腔インプラント埋入手術について	<p>【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 口腔インプラント埋入手術について説明できる <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修しておく。 準備学修時間：45分 事後学修項目：授業項目に挙げた内容をよくわかる口腔インプラント学から学修する。 事後学修時間：45分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 イ 臨床操作 a インプラント埋入手術(一次手術)</p>	*玉木 大之
2021/01/28 (木) 1時限 08:40～09:40	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	<p>【授業の一般目標】 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患を列挙できる。 3. 顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像検査法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴 準備学修時間：60分 事後学修項目：顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	*平原 尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/01/28 (木) 1時限 08:40～09:40	顎骨に発生する嚢胞・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	401教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍	*平原 尚久
2021/01/30 (土) 1時限 08:40～09:40	歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断	【授業の一般目標】 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断を行えるようにする。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 骨折を定義を説明できる。 3. 骨折の診断に必要な検査法を説明できる。 4. 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の骨折について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の特徴 準備学修時間: 60分 事後学修項目: 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の画像診断 事後学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 d 上顎骨骨折	*平原 尚久
2021/02/01 (月) 1時限 08:40～09:40	歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断	【授業の一般目標】 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断を行える。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯槽骨・顎骨の炎症について述べるができる。 3. 歯槽骨・顎骨の炎症を診断するための検査法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 歯槽骨・顎骨の炎症の特徴 準備学修時間: 60分 事後学修項目: 歯槽骨・顎骨の炎症の画像診断 事後学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療 b 顎骨骨膜炎	*平原 尚久
2021/02/02 (火) 1時限 08:40～09:40	軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断	【授業の一般目標】 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患について説明できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の特徴 準備学修時間: 60分 事後学修項目: 軟組織に発生する嚢胞性疾患・腫瘍および腫瘍類似疾患の画像診断 事後学修時間: 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有 プリント 【学修方略(LS)】 講義	*平原 尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/02/02 (火) 1時限 08:40～09:40	軟組織に発生する 嚢胞性疾患・腫瘍 および腫瘍類似疾 患の画像診断	<p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 菌原性良性腫瘍</p>	*平原 尚久
2021/02/03 (水) 1時限 08:40～09:40	感染症	<p>【授業の一般目標】 有病者の歯科治療を安全に行うために、感染症の診断に必要な検査項目、疾患の原因および症状について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 感染症の定義について述べることができる。 3. 感染症を調べるための検査項目を述べることができる。 4. 感染症の原因と臨床症状を述べるができる。 5. 感染症に罹患している患者への歯科治療を行う際の注意点を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：4年時の講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義資料 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p>	*淵上 真奈
2021/02/04 (木) 1時限 08:40～09:40	出血性素因	<p>【授業の一般目標】 出血性素因について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 出血性素因の定義を述べられる。 3. 出血性素因の原因を述べられる。 4. 止血の仕組みを述べられる。 5. 出血性素因を調べるための検査項目を述べられる。 6. 出血性素因を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：4年次講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義プリント 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点</p>	*小峯 千明
2021/02/05 (金) 1時限 08:40～09:40	貧血	<p>【授業の一般目標】 貧血について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 貧血の定義が述べられる。 3. 貧血を調べるための検査項目およびその意義を述べられる。 4. 貧血に伴う特徴的な症状を述べられる。 5. 貧血を有する患者の歯科治療を行う際の注意点を述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：4年次講義プリント 準備学修時間：30分 事後学修項目：講義プリント 事後学修時間：30分</p>	*深津 晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/02/05 (金) 1時限 08:40～09:40	貧血	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療 ク 赤血球系疾患 a 貧血</p>	*深津 晶

口腔衛生領域

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	*有川 量崇 (衛生学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	
担当教員	*清水 武彦
評価方法 (EV)	
学生への メッセージ オフィスアワー	

基礎系補習講義

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	後学期	*宇都宮 忠彦 (病理学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	
担当教員	*清水 武彦
評価方法 (EV)	
学生への メッセージ オフィスアワー	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/03/16 (火) 1時限 08:40~09:40	生化学	<p>【授業の一般目標】 身体を構成する基本物質を理解するために、タンパク質・炭水化物・脂質等の構造や特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 身体を構成する基本成分を説明できる。 2. 五大栄養素とエネルギー代謝を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：3年次栄養学プリントを見直し不明な点を探しておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：今回配布したプリントの見直し。 事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 プリント配布</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 400教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 a 生体構成成分の構造・機能</p>	平塚 浩一 竹内 麗理
2021/03/19 (金) 1時限 08:40~09:40	生理学	<p>【授業の一般目標】 体液の移動を理解するために、浸透圧について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 浸透圧とは何か説明できる。 2. 血漿膠質浸透圧と血漿浸透圧の違いを説明できる。 3. 浮腫の原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：体液と血圧の関係を学習する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：浮腫の原因となる疾患とそのメカニズムを理解する。 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p>	吉垣 純子
2021/03/23 (火) 1時限 08:40~09:40	病理学	<p>【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、病因論と病変とのかかわりについて学習する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 以下の学修目標と内容は基礎歯科医学教育及び臨床経験に基づいて設定する。 2. 病因を列挙することができる。 3. 6大病変の特徴と代表的疾患について説明できる。</p>	*宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2021/03/23 (火) 1時限 08:40～09:40	病理学	<p>4. 主要な口腔疾患の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目： 1) 内因と外因、6大病変、主な口腔疾患 ・事前学修時間：30分 事後学修項目： 1) 講義演習問題の復習 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 401教室、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 401教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ア 内因、外因 a 代謝障害（変性） b 化生 d 創傷治癒 b 局所の循環障害 c 分類と病態 d 分類と病態 e 組織学的構造</p>	*宇都宮 忠彦